

なにわ人権教育ネットワークとの協議等議事録（要旨）

教育委員会事務局 指導部 教育活動支援担当

- 1 日 時 令和6年2月6日（火） 午後6時30分 ～ 午後7時50分
- 2 場 所 大阪市役所 地下1階 第1共通会議室
- 3 団 体 名 なにわ人権教育ネットワーク
- 4 協議等の趣旨 教育全般及び人権教育の推進についての要望
- 5 出 席 者
(団体側)
代表者 他9名
(本 市)
課長級4名 係長級1名
- 6 議 事
 - (1) なにわ人権教育ネットワークが果たしてきた役割とその成果について（項目1）
 - 【団体要望概要】
 - ・今後も引き続き人権ネットとの協議を行うよう求める。
 - 【本市説明概要】
 - ・引き続き行っていく。
 - (2) 今後の同和教育・人権教育の推進について（項目2）
 - 【団体要望概要】
 - ・大阪市全体で、同和教育・人権教育の取組を強化していくべきである。
 - ・人権教育を推進するために、人権教育の研修を実施してもらいたい。（意見のみ）
 - 【本市説明概要】
 - ・部落差別の問題については、SNS を含めた社会の構造が変わっていく中で、正しい知識、人権感覚をどのように培っていくべきか検討している。
 - (3) 被差別の子どもたちの学力向上や解放教育を中心とした人権教育について（項目5）
 - 【団体要望概要】
 - ・人権教育のエキスパートを育てる研修を実施してもらいたい。

【本市説明概要】

- ・人権教育の深化・充実を進めるための研修を進めていく。

(4) 人権教育教材集について (項目 6)

【団体要望概要】

- ・人権教育教材集をもっと学校現場に周知していくべきである。

【本市説明概要】

- ・人権教育教材集については、S K I P等で積極的に周知していく。

(5) 教職員の人権教育研修について (項目 9)

【団体要望概要】

- ・人権教育研修において、地域の方の人材活用をもっと増やしてほしい。

【本市説明概要】

- ・教職員地域研修推進委員会とともに人権尊重の視点にたった教職員の人権教育研修を推進していく。

(6) 浪速人権・同和教育推進協議会等が果たしてきた成果について (項目 10)

【団体要望概要】

- ・浪速地区人権・同和教育研究集会は、地域の実践や思いを感じることができるので、新任の教職員研修等に位置付けてほしい。(意見のみ)

(7) 「フレンズカップ オブ ナニワ」などの取り組みの実施について (項目 11)

【団体要望概要】

- ・教育委員会も積極的にサポートをしてほしい。

【本市説明概要】

- ・区役所と連携を図って進めていく。

(8) 地域の子どもの安全を確保について (項目 17)

【団体要望概要】

- ・子どもの安全確保を行うためには人の配置が必要である。予算を立てて取り組んでほしい。

【本市説明概要】

- ・地域との連携をさらに進めるとともに、関係機関等との連携・協力を構築し、子どもの安全確保に努めていく。

(9) インターネットやスマートフォンなどSNSの利用について (項目20)

【団体要望概要】

- ・スマートフォンの普及に伴いトラブルが多発している。一定の規制が必要ではないか。

【本市説明概要】

- ・児童生徒のインターネットの利用状況についての実態把握を行い、情報モラル教育の充実、及び保護者への啓発等に取り組んでいく。